

事務事業名		退職被保険者等分移送費給付事務					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	健康医療部	担当課	医療保険課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係	国保係	担当課長名	落合 眞	
	施策	3 地域福祉の推進と生活保障の充実					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 国民健康保険制度の適正運営の推進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	16520	国保(事業)	2	3	2	退職被保険者等分移送費給付費					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成6年度～ 年度		根拠法令 条例等	国民健康保険法					
							市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
							任意的事業・義務的事業		義務的事業		
							実施方法		直営		
						事業分類		現金・現物給付事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
国民健康保険被保険者のうち、被用者年金各法に基づく老齢または退職を支給事由とする年金給付を受ける者であって、被保険者の期間等が20年以上であるか、または40歳に達した月以降の被保険者の期間等が10年以上である者が、傷病または負傷により移動が著しく困難である場合で、緊急かつやむを得ない場合に、医師の指示による適切な診療を受けるために移送にかかった経費のうち厚生労働省令による算定額を世帯主に給付します。			左記に同じです。							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			延べ給付件数	件	0	0	1			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
国民健康保険退職被保険者			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			退職被保険者数(年平均)	人	1,846	1,568	1,300			
目的 ③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
移送に係る費用の負担が軽減され、安心して医療を受けられます。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			1件当り給付額	円	0	0	1,000			
			1人当り給付額	円	0.0	0.0	0.0			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
国民健康保険制度が適正に運営され、安心して医療を受けられる。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			1人当たりの医療費の伸び率	%	3.7	1.5	2.8			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	国庫支出金	千円							
	県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	一般会計	千円							
	その他	千円							
	一般財源	千円	0	0	1				
	事業費計(A)	千円	0	0	1	0	0		
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目
		負担金	0	負担金	0	負担金	1		
人件費	人	1	1	1					
のべ業務時間	時間	0	0	0					
人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0			
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	1	0	0			

事務事業名	退職被保険者等分移送費給付事務	担当部	健康医療部	担当課	医療保険課	担当係	国保係
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成6年の法改正により、現物給付としての移送の給付を療養の給付から切り離し、現金給付としての移送費が新設されました。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	従来より法律上規定されていましたが、実際に現物給付されている事例はなく、療養費として、償還払いされていたのが実情であったため、平成6年の法改正により、現物給付としての移送の給付を療養の給付から切り離し、現金給付としての移送費が新設されました。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特にありません。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外です。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 経済的負担を心配せず、安心して医療を受けることができるという点で政策体系に結びついています。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
有効性 評価	市が行わなければならない	理由・改善案 国民健康保険法第54条の4に「保険者は、被保険者が療養の給付を受けるために病院等に移送されたときは、世帯主に対し、移送費を支給する。」と規定されている法定事務で、市が行わなければならないが、給付事務の一部を国民健康保険連合会に委託しています。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 より適切な医療を受けるための医療機関への移送費が軽減され、安心して医療を受けることができ、対象と意図は妥当です。
効率性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 法令で定められた給付を行うもので、成果を問うものではありません。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
公平性 評価	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名 * 類似事務事業があれば、名称を記入
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 厚生労働省令の定めるところにより算定した額を支給となっているため、裁量の余地はありません。 また、最小の人員で事務に対応していますので、人件費の削減余地もありません。
総合 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案 被保険者が傷病または負傷により移動が著しく困難である場合で、緊急かつやむを得ない場合に、医師の指示による適切な診療を受けるために移送にかかった経費と保険者が認める場合に限り支給されており、現状適正であると考えます。
⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
法定事務のため、国民健康保険制度を市が運営する限り、廃止できません。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			